

2020年11月吉日

2020年度 総会書面決議結果報告

9月に会報の配布に合わせて総会書面決議のお願いをしました。回答期限までに811名の方から回答と多くのコメントをいただきました。ありがとうございました。

すべての議案は回答者の半数を上回る承認を受け議決されました。

書面決議の結果を以下の通り報告致します。

第1号議案「2019年度活動報告の承認に関する件」	承認する (811)	承認しない (0)
第2号議案「2019年度収支決算の承認に関する件」	承認する (810)	承認しない (1)
第3号議案「役員改選の件」	承認する (810)	承認しない (1)
第4号議案「会則改定の件」	承認する (799)	承認しない (12)
第5号議案「2020年度活動計画の議決に関する件」	承認する (810)	承認しない (1)
第6号議案「2020年度収支予算の議決に関する件」	承認する (808)	承認しない (3)
◇諸報告	承認する (810)	承認しない (1)

会 長 挨 拶

武蔵高等学校同窓会
会長 41期 落 雅美



謹啓、

昨年末に中国で発生が確認された新型コロナウイルス感染症は瞬く間に全世界へと拡大し、間もなく1年が経とうとする現在もその猛威は治まるところを知りません。

我が国でも感染者数は減少したものの収束には程遠い状況が続く今日ですが、会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。

さて、2020年度同窓会総会は例年の5月開催がかなわなかったことから懸案事項を書面送付による決議と致しました。このような形で実施することが初めてであり役員一同大きな不安を抱えておりましたが、皆様のご協力により期日内に800名を超える会員の方々から決議の執行を頂くと共に貴重なご意見も数多く賜ることが出来ました。同窓会役員を代表して深く御礼を申し上げます。

提案申し上げた議案は全て承認される結果となり安堵すると同時に、これからの同窓会活動をどのように進めていくかを考え、私達は身の引き締まる思いです。

名簿発行については毎年から3年毎への発行を提案致しました。同窓会員情報については同窓会が把握可能な情報は全てデータベース化され、その管理体制も確立しております。今後は改革が進む社会の流れに乗って誌面発行からデジタル化への検討が求められるかもしれません。

各委員会の再編は同窓会活動内容の拡大に沿って見直すべきであるとの考えから役員会でも検討を重ねた上でご提案致しましたが、現行の各委員会委員を交えてこれからも検討を続けて来年の総会で決議を頂くことにしたいと考えます。

新入会員の入会金値上げにつきましても概ね承認のご意見を頂きましたが、反対意見も頂きました。母校を取り巻く教育環境を見る中で同窓会活動が母校支援に力を入れるべき事は言うまでもありません。同窓生の中に寄付文化を醸成し、一人でも多くの同窓生が母校を応援して下さるようにと同窓会は活動を続けております。加えて、武蔵がこれからも武蔵である為に同窓会として人的・経済的支援を積極的に行いたいと思っておりますが、必要とされる経済的支援を充足させるには現在の同窓会の財務状況の改善は必須です。

同窓会の収支改善には支出を減らす努力は言うまでもありませんが、収入増加の努力も不可欠です。その努力とは会費納入率の向上に他なりません。私達は世代間で差がある納入率の分析と、各期幹事を通じての会費納入への理解を頂く努力を重ねております。今後も納入率向上は同窓会業務として最重要課題の一つとして取り組むこととお約束致します。

会費値上げのご意見を頂きましたが、毎年の会費を値上げするにあたっては広く会員の皆様のご理解を頂く必要があり、今後継続して検討すべき課題と思っております。

翻って、入会金は初期に僅かな値上げを行って以来30年以上据え置きです。その値上げに関しては会則変更が必要なことから会則委員会とも意見交換を行うと共に、高中の校長・事務局長宛に値上げの趣旨を提示すると共にその可能性についてご意見を頂きました。これらの経緯につきましては総会書面でご報告いたしましたので割愛致しますが、今回ご提案の¥30,000への値上げについては問題なしとしてご提案致しました。

活動方針の中でも述べました通り、同窓会の重要な役割である母校への支援を積極的に行う為に入会金値上げによる増収を図るならば、新入会員を含めた会員皆様からのご理解を頂けるものと確信しております。値上げによる増収はそのような用途を念頭に置いてのこととご理解頂けますようお願い申し上げます。

以上、同窓会役員を代表して皆様へのお礼を述べさせて頂きました。これからも皆様からのご意見とご指導を頂きながら、同窓会活動を活発化させる所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

謹白